

教育充実募金のお願い

平素は、学校法人女子美術大学の法人運営、並びに教育研究活動に多大なるご支援を賜り、誠に有難うございます。

学校法人女子美術大学は、明治 33（1900）年の創立以来、建学の精神である「芸術による女性の自立」、「女性の社会的地位の向上」、「専門の技術家・美術教師の養成」の理念の下、幾多の改革・改編を実行しながら、美術の一貫教育システムを有する特色ある教育研究機関として発展して参りました。現在は中学校から大学院までの各校を合わせ、4千人を超える学生・生徒、教職員が集う教育研究機関に成長し、また、卒業生は、芸術家をはじめ社会の担い手として各界で活躍しております。今後もこれまでの伝統を継承しつつ、更なる発展に努めていく所存でございます。

さて、本学園は、これまで皆様方のご支援・ご協力による募金事業において、杉並・相模原両キャンパスの施設設備・教育用機器備品の充実、美術館、歴史資料展示室、110周年記念ホールの設置等、教育研究環境の整備を実施して参りました。また、経済的支援を必要とする学生・生徒に対する学業継続のための援助、優秀な学生・生徒に対する報奨制度の充実のため、奨学金の創設による奨学金給付事業にも積極的に取り組んでおります。

今後も、教育研究機関としての社会的使命を果たしていくため、このような事業に取り組んで参る所存ですが、大学を取り巻く環境が厳しさを増すなか、経費削減をはじめとする経営の合理化だけでは十分な資金を賄い切れないのが実情でございます。経済情勢の厳しい折、甚だ恐縮ではございますが、このような実情をご理解いただきまして、募金事業への格別のご協力を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

平成 27 年 6 月 吉日
学校法人女子美術大学
理事長 福下 雄二